

きずな



北九州市立折尾西小学校

学校だより 10月号②

令和2年10月22日(木)

校長 成重純一

前期終了 後期開始

先週の金曜日に前期終業式を行いました。本校の子どもたち、501名全員が体育館に並ぶと、相互の間隔を1m程度確保することは難しいので、運動場で行いました。

土曜日と日曜日を挟んで、すぐに19日(月)から後期が始まりました。こちらは、放送で私が全学級に呼び掛ける形式で簡易なものにしました。

両日を通じて子どもたちに呼びかけたのは、「言われなくてもできること」を増やしていこう、ということでした。挨拶をする、返事をする、黙って掃除をする、困っている友達を助ける、宿題をする、などを例に挙げました。ごく当たり前のことですが、そうしたところを大事にしたいと考えています。後期もどうぞよろしくお願いいたします。

学習活動の制限緩和 教育委員会の方針

教育委員会が5月に示していた「学校再開後の学校生活・授業実施上の留意点について」の内容が、10月7日付けで一部変更されています。例えば、「教室での児童生徒の間は、1m以上距離をとること。」が、「～の間は、1mを目安に最大限の距離をとること。」へ変更されました。また、「話し合う活動は当面避けること。」とされていたのが、「話し合う活動は、児童生徒が正対しないようにする、スクールシールドを活用するなど工夫して行うこと。」となりました。その他様々な点で、通常の学習活動に近づくように緩和されています。本校も、子どもたちの健康維持とともに、学習活動を充実させていきます。

カメカメウォーク運動 キャラクター決定

校舎内を「カメのようにゆっくり歩こう」と呼び掛ける「カメカメウォーク運動」をさらに充実させるため、児童委員会の子どもたちが新しいキャラクターを決めるオーディションを開催しました。グランプリには、4年生男子が応募した「おりカメ」が選ばれました。このほかにも、多数応募があり、「校長先生賞」「教頭先生賞」「アイデア賞」が選ばれています。どれも親しみやすいキャラクターで、子どもたちの発想に驚かされました。



大麻乱用防止広報啓発動画

福岡県内で、大麻乱用により検挙される少年が急増している現状から、福岡県警が、大麻の危険性・有害性や北九州市における大麻乱用の実態等を解説した短時間の動画を、小学校高学年向けと中学・高校生向けに2作品制作し、県警察公式ホームページに公開しています。ご家庭からでも視聴可能ですので、どうぞご活用ください。